

ちい えき さくしゃ
《小さな駅》の作者について

小田野 尚之(おだの なおゆき)

ねん か な がわけんよこはま しう
1960年神奈川県横浜市生まれ。

ねんとくきょうげいじゆつだいがくだいがくいんびじゆつけんきゆうか に ほん が しゅうりょう
1986年東京藝術大学大学院美術研究科日本画修了。

げんざい に ほん びじゆつどういん おのみち しりつだいがくげいじゆつぶん か がく ぶ きょうじゆ
現在、日本美術院同人、尾道市立大学芸術文化学部教授。横浜市在住。

すぐれた技術により、昔からあって今も残る

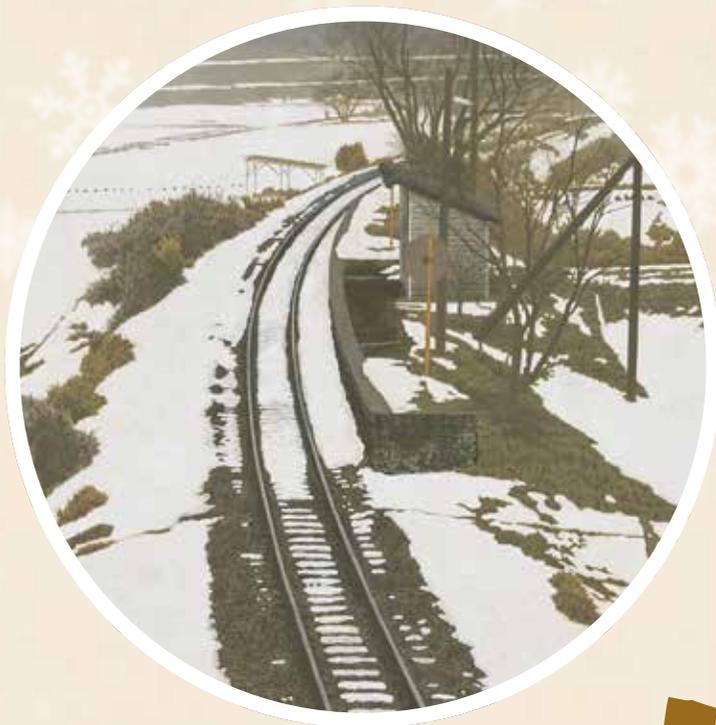
どこかなつかしい風景を多く描いています。

ジュニア
ガイド

さい こう だい かい いん てん よこ はま てん
再興第102回院展 横浜展

こん かい しゅっぴん さく ひん てん なか
今回は出品作品86点の中から、
ない かく そう り だい じん しょう じゆ しょう
内閣総理大臣賞を受賞した
《小さな駅》をご紹介します。

絵をみて気がついたことを自由に書いてみよう!



こんな風景を
見たことがあるかな?

再興第102回院展

2018年3月10日(土)~3月26日(月)

そごう美術館[横浜駅東口 そごう横浜店6階]

〒220-8510 横浜市西区高島2-18-1

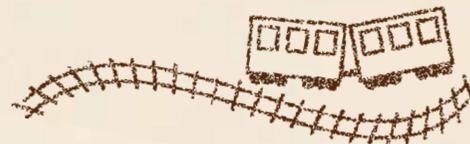
電話 045 (465) 5515 (美術館直通)

<http://www.sogo-seibu.jp/common/museum/>

[編集・発行] そごう美術館 2018年3月



www.sogo-gogo.com



雪景色の小さな駅。いろいろと注目してみよう!



どこを描いているのかな?



1日に5本くらいしか電車が通らない、島根県の小さな無人駅を橋の上から眺めた景色だよ。

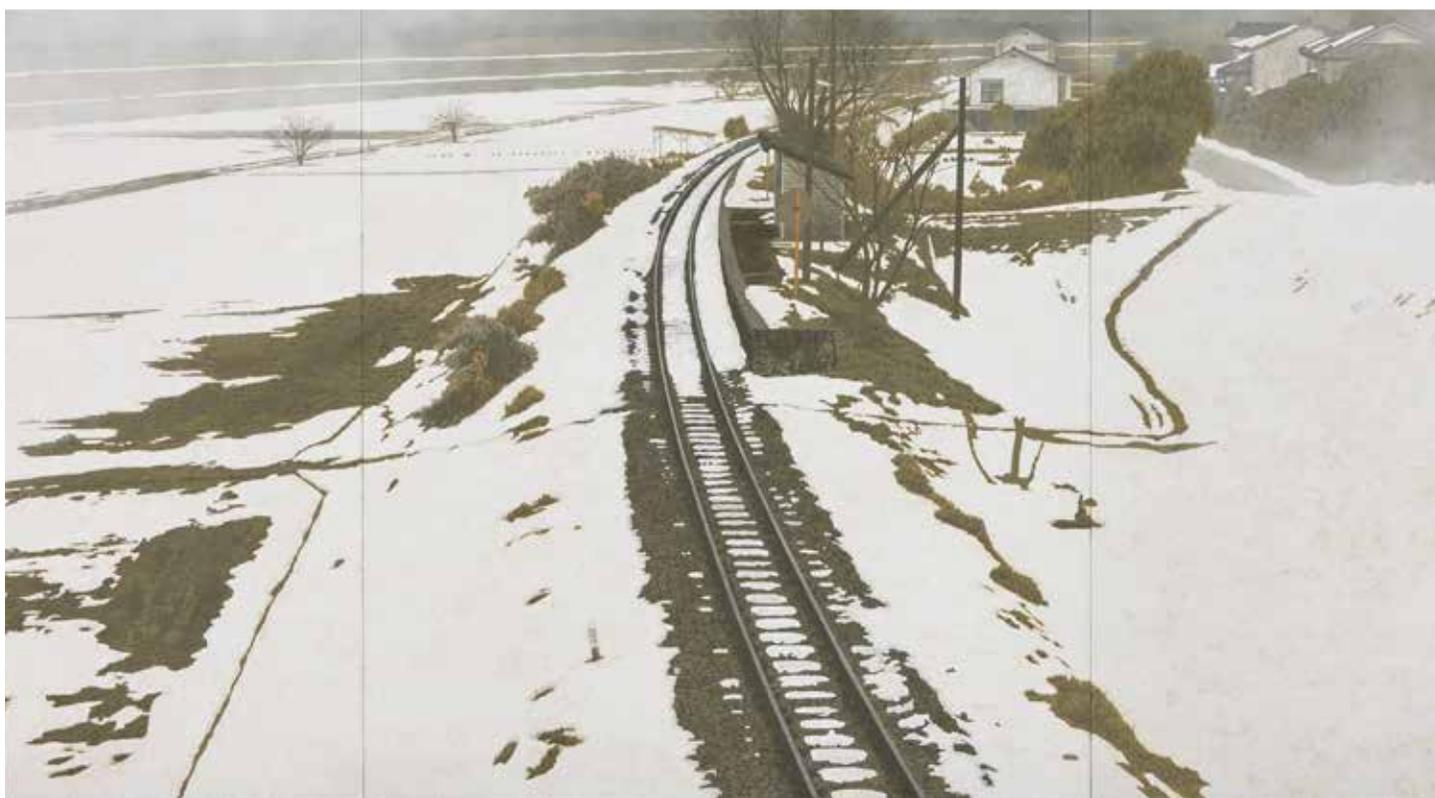
鑑賞のポイント

絵の中に入りこんだつもりになって、電車が来ることを想像したり、風の音、空気の冷たさを自由に感じてみよう!

制作エピソード

「はじめて橋の上でデッサンをした時は雪が降り始めて、描いていた紙がよれよれになってしまいました。」

「2回目に行った時は晴れていたのので、細かい部分まで観察ができて、無事描きあげることができました。」



おだのなおゆき ちい えき ないかくそうりだいじんしょう
小田野 尚之《小さな駅》内閣総理大臣 賞

技法のポイント

ポイント①

微妙な色あいを出すため、はじめに和紙全体に金箔を貼り、その上に描いています。



きんぱく
金箔

ポイント②

雪の「ふかふか」を表現するために、画面に絵の具を塗るといよりも、特別な筆を使って、叩きつけるように描いています。



ふで
筆



日本画とは?

明治時代に外国から「西洋画」が入ってきた時、それと区別するため、日本の伝統的な絵画を「日本画」と呼ぶようになりました。

「日本画」は、おもに和紙や絹に天然の鉱石などを砕いて作った「岩絵具」を、牛や鹿など動物の骨や皮などを煮てつくった「膠」を接着剤にして、水で溶いて刷毛や筆を使って描きます。



日本美術院とは?

横浜出身の岡倉天心が中心となって1898(明治31)年に創立しました。この団体は、西洋美術のよいところと東洋の伝統を合わせて、自分たちの時代に合った新しい日本画を生み出すことを目的としています。

おたがい仲間とし学びあいながら、絵を自由に研究する心を大切にして、今も多くの画家たちが日本美術院のひらく「院展」への入選をめざしています。

おかくらてんしん
※岡倉天心(1863-1913)
めいじ たいしょうたい びじゅつうんどう しどうしゃ
明治・大正時代の美術運動の指導者